

令和7年度 伊勢崎市の学校教育方針

I 目指す子供の姿

夢と希望をもって自律的に学び、共生社会の担い手として
心豊かにたくましく成長する子供

II 大切にしたい子供の思い

楽しい

もっとやってみたい

好き

ありがとう

ほっとする



Ⅲ 伊勢崎市の教育で大切にしたいこと

子供の安全・安心の確保

子供や保護者の思いや願いに
寄り添う支援の推進

特別な配慮を必要とする子供への
適切な支援の充実

幼児教育と学校教育との連携

キャリア教育の展開

英語教育の充実

ICTの活用等を通じた
授業改善の推進

子供の心の居場所となる校内教育
支援センターや日本語教室の整備

地域との二層の連携
(コミュニティ・スクールの充実)

Ⅳ 子供の思いを実現させる4つの柱 ～『伊勢崎教育アクション4』～

生活や学びの基礎の育成

- 一人一人のよさや可能性を引き出す指導・支援の充実
- 家庭や地域と一体になって行う保育・教育の充実

- ◇子供の思いや気持ちに寄り添うことにより、「好きなこと」「やりたいこと」に夢中になって取り組み、一人一人のよさや可能性を伸ばせるようにします。
- ◇育ちや学びのつながりを意識して幼小中の連携を図り、子供が主体的に遊ぶ・学ぶ環境を整えることにより、健康な生活や体力の向上、望ましい学びに向けて、自分で考えて行動できるようにします。
- ◇生活や学びの基礎に対する考え方を保護者と共有し、子育て支援、家庭や地域と協力した教育活動を充実させることにより、豊かな感性や社会性を身に付けられるようにします。

豊かな心の育成

- 自分らしさを表現できる場の充実
- 子供の理解を基にした誰一人取り残さない支援の充実

- ◇子供が安心して過ごせる場を保証し、「ほめる」「認める」「励ます」支援をすることにより、自分の持てる力を発揮し、目標に向けて粘り強く取り組めるようにします。
- ◇集団生活の中で、協働し折り合いをつけながら、よりよい生活を創り出す経験を積み重ねることにより、友達と関わるよさや達成感を味わい、自信をもって物事に取り組めるようにします。
- ◇日常の観察や面談、諸調査の結果等を基に子供の個性やよさ、可能性を把握し、一人一人に合った支援をすることにより、自分らしく学校園生活を送れるようにします。

確かな学力の向上

- 自律した学習者を育てる指導の充実
- 発達に応じた、自己決定、対話・交流、試行錯誤の場の充実

- ◇子供が学びの目標を設定する場面と、学びを振り返る場面を充実させることにより、自らの学びの成果や課題を実感し、次の学びへ向かう態度を育てます。
- ◇課題の解決方法を決めることや、他者との対話を通して考えを深めることを支える授業改善の推進により、自ら学び方を工夫しながら、考え表現する力を高められるようにします。
- ◇教職員の専門性や指導力向上を図る研修を充実させ、教科の魅力を伝える授業を追求することにより、子供が学びへの必要感を見だし、学ぶ喜びや楽しさに向け、自分で学び続けられるようにします。

共生社会を創る力の伸長

- 一人一人の夢や希望を実現するキャリア教育の充実
- 子供も大人も互いを認め合う地域連携の充実

- ◇カリキュラムパートナーやいせさき教育アンバサダー、地域の方等、多様な人々と出会い、様々な生き方に触れることを通して、将来の夢や希望を描き、実現に向けて自分で考えて行動できるようにします。
- ◇コミュニティ・スクールの拡充、地域行事や公民館事業への子供の参画等、地域の人々と交流し社会と繋がりながら学ぶことを通して、ふるさと伊勢崎への誇りや愛着、社会の一員としての自覚を養います。
- ◇各種研修会を基に教職員や地域の方が人権感覚を高め、人権教育を充実させることを通して、学校、家庭、地域が連携・協働しながら、多様性を尊重し認め合う心を育てます。